2019年8月18日

差枚	+455枚	RANK	B

実戦機種

パチスロ蒼天 朋友、パチスロ北斗の拳 新伝説創造

実戦レポート

前回、おそらく低設定であろう台で収支をプラスにできた事が、精神的にもかなりプラスを及ぼしてくれている。最近はメダル持ちの良い台が多いとはいえ、やはりAT・ARTが主体のゲーム性は少しヒキが悪いだけでとんでもなく投資が嵩んだりするので、弱気な心ではうかつに手を出せないからね。もしかすると、パチンコ・パチスロを程よく嗜んでいるぐらいの方々には、こんな気持ちの人も多いのかもしれない。ゴッド系だの何だのに勢いよく特攻できる神経の方が異常なのかもしれない。

ただ何度も言うが、財布の事情やその時の打ち手の心情なんかは、「理論的に正しい立ち回り」の前には一切意味がない。そこに高設定があれば、打ち続けてプラスになる可能性が高いならば、時間の許す限り投資し続けるしかないのだ。

さて、今日もどの台が高設定なのか、理論的に探し出さないとな！と思いつつ抽選を引くと、並び人数的には真ん中あたりの「10番」。最新台は入っていなかったので、増台機種やそれに伴う配置変え機種の中から、自分が得意なやつ…「パチスロ蒼天の拳 朋友」からスタートした。やはり先日の低設定での勝ちで、ヒキもテンションも回復していたのだろう。低投資で幸先よくATを引き当てると、最初の連チャンが10セットまで伸びる間に設定推測要素のサンプルもかなり稼ぐことができ、設定2以上確定＋偶数設定の可能性が濃厚という、まさにイメージしていた通りの結果が出たのだった。

ただ、こんなものはリゼロの「246円」と同じくらい、蒼天を打てばよくあること。あとは3枚ベル＆1枚役の出現率を見つつ、もっと当てて当てて「高設定示唆」や「設定〇以上確定」の出現を待つのみだ。幸いなことに3枚ベルは早くも好調で、おかげで初当りは非常に好調。設定4･6を確信できるのは時間の問題だろう。時間、時間…あれから7時間。いくら当てても当てても、バトルボーナス中の赤LEDや紅華会背景は一度も出やがらねぇ。今まで蒼天の偶数設定を打った日は全て設定4･6を疑うことは無かったが、ここでついに来たか…設定2ってやつが！

ただ出玉のほうは、1000枚出て、1000枚出て、1500枚ノマれて、800枚出て…といった感じで、一応プラス域はキープできている。また低設定をヒキで出してしまったか。来てるな、流れが！　そして最後は、蒼天の隣でバリバリの高設定挙動を見せてくれていた北斗新伝説をちょっと打ち、激闘乱舞をショボ連させてさらに出玉を減らし、逃げるように実戦終了。B級だ。